

アルツハイマー型認知症の早期治療薬「レ

カネマブ」は、年間約300万円かかり、効果は認知低下を約4

割を疑問視する声が相歩き方が効果があるよ



長尾和宏  
オフィシャル  
サイト

大声でつぶやく

# けったいな町医者

作家・医学博士 長尾和宏

50



「レカネマブ」の高額さと運動の予防効果がXで話題。僕が10年前から主張してきた予防法が明らかに。寒い日々だけれど太陽光の下を手を振って歩こう。

## 寒いけれど歩こう

カ月遅らせる程度で、次ぎ、安価な歩行の予副作用のリスクもあり、防力が注目を集めていきます。

一方、米国の研究では1日5000歩〜7500歩の歩行で脳内500歩の歩行で脳内7年分のタウ蛋白蓄積を7年10年前も今も、そんなので、予防薬を投与して欲しい」

といくら言っても相談者には無視されてきた。だから、こつてニュースになることはありがたい。

そうなんです。まだ信じられない人は僕の歩行本を読んでね。10冊以上出ています。

寒いけれど歩こう。年始から歩こう。きつといいことがある。